

# 立教大学

www.rikkyo.ac.jp

自由の学府からの  
メッセージ④

## 変化に敏感なゼネラリストこそが、 次代のビジネスリーダーになれる。

立教大学大学院  
「ビジネスデザイン研究科」教授 **亀川雅人**

厳しい淘汰の時代だからこそ、事業を構想する力を育てなければならない。その思いのもと、2002年春、立教独自のMBAである「ビジネスデザイン研究科」は誕生しました。本研究科では、多様なキャリアを持つ社会人の院生たちが、チーム形式で実際のビジネス構築に必要な知識や経験を体得する<ビジネスシミュレーション>を行い、高度で創造的なビジネス研究に取り組んでいます。激しく変動する現代社会において、個人が本当の能力を発揮するためには、社会や組織のあるべき姿を認識し、その中における自分の位置づけと役割を発見していくことが必要です。狭い職能意識から視野を広げ、経営全般に関する総合的な知識と判断能力を備えた「自立した個人」であることが求められます。特にこれからのビジネスリーダーには、経営に作用する多様な変数とその相互作用を理解し、職能間の知の有機的な結合を図る力が不可欠です。企業経営を取り巻くあらゆる環境要因に敏感で、そうした環境変化をキャッチするアンテナを張れる「真のゼネラリスト」。そんなゼネラリストこそが、21世紀を担うビジネスリーダーなのです。

(プロフィール)

かめかわ まさと。1954年東京生まれ。立教大学大学院修了(博士:経営学)。1994年、立教大学経済学部助教授に就任。1995年より教授となり、同経済学部経営学科で教鞭をとる。また、2002年4月に新設された立教大学大学院「ビジネスデザイン研究科」の研究科委員長を務める。専門は企業財務。最近の論文テーマは「契約理論と企業価値」。著書多数で、2003年には『入門経営学-改訂版-』『入門現代企業理論』(新世社)を上梓予定。